

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-ウ	優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進	施策	① 大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進
			施策の小項目名	○教育環境及び共同研究の充実
主な取組	県立看護大学運営・施設整備			
対応する主な課題	①少子高齢化、グローバル化などを背景に多様化・複雑化する社会的、時代的要請に的確に対応できる専門的な人材を養成していくためには、県内大学等の独自の理念を掲げた学校運営を尊重しつつ、ニーズに対応した特色ある教育研究を促進するほか、高等教育を受ける機会の創出・環境整備等の諸施策にも取り組む必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
県立看護大学の円滑な運営を図り、教育及び学術研究等に安全で良好な環境を提供する。		100% 国家試験 合格率				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課 【098-866-2169】					
		看護大学の運営、必要な施設の整備、教育研究に係る取組				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 県立大学運営費、看護大学施設等整備費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： 高等教育機関として県立看護大学を運営し、本県の保健医療の向上に貢献する看護師、保健師、助産師の育成を図る。 OR4年度： 高等教育機関として県立看護大学を運営し、本県の保健医療の向上に貢献する看護師、保健師、助産師の育成を図る。
県単等	直接実施	207,258	181,437	207,600	218,240	171,691	162,084	県単等	
予算事業名 —							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度： — OR4年度： —
		—	—	—	—	—			

様式1(主な取組)

活動指標名	看護師国家試験合格率				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	100%	97.4%	98.59%	100%	98.6	100	98.6%	171,691	順調	<p>国試ガイダンスは緊急事態宣言等の影響により学生へ遠隔配信した。学生と教員で年間計画を立てた。感染対策を実施し希望する学生へ図書館を専用利用として、勉強に集中できる環境を整えた。万全の体調で国試に臨めるよう勉強の進捗状況の把握や生活の仕方について助言した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>国家試験対策講座を8月と1月に遠隔で開催した。8月は、76人中の50人程度の学生が参加した。1月は50人程度の参加があった。教員は遠隔で対応可能な時間枠を確保して、学生の質問に答えていた。また、国家試験対策講座を録画し、後で繰り返し見れるよう、オンデマンドでも提供した。新型コロナウイルス感染拡大の影響の中でも学生の地道な努力と教員の熱心な指導により受験者72人中71人が合格した。</p>
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—				
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大等の状況を注視しながら、遠隔実施や個別対応により可能な限り学生へ国試対策講座を受講できる機会を設ける。</li> </ul>								<ul style="list-style-type: none"> <li>4年次の希望に応じて科目を選定し、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、すべて遠隔により実施した。</li> <li>また、録画した国家試験対策講座をオンデマンドでも提供し、教員もメール等で学生の質問に回答することをを周知し、実施した。</li> </ul>		



3 取組の検証 (Check)

## 様式1(主な取組)

### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

#### ○内部要因

・遠隔での国試対策は、ZOOMやオンデマンドを使って行い、メール等を使って学生の質問に答える工夫をした。また、感染対策を実施しながら図書館を専用利用させ、勉強に集中できる環境を整えた。

#### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症の拡大が昨年度より続いており、学生同士で教えあい、励ましあいながら勉強をする環境がなかなか取れず、モチベーションが低下する学生も見られた。

### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・今後も、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が続くようであれば、遠隔での国試対策や支援を引き続き継続し、感染対策をしながら学生同士で勉強できる環境を増やせるような工夫が必要。

## 4 取組の改善案 (Action)

・新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら、学生の成績などにも配慮して、少人数で感染予防対策を行いながら、勉強できる教室を増やす。引き続きZOOMやオンデマンドなども活用しながら、学生の要望に沿った国試対策を、遠隔および対面で継続して実施する。自宅で一人受験勉強に励む学生のメンタル面のサポートも、今後検討していく必要がある。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(4)-ウ	優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進	施策	① 大学等の教育研究環境の充実及び地域貢献活動の促進
			施策の小項目名	○地域貢献活動等の促進
主な取組	県立看護大学における地域貢献			
対応する主な課題	②また、大学等の社会貢献が求められる中、大学等が持つインフラや生み出した優れた研究成果等を県民生活の向上やものづくり産業振興に結びつけるなど、高等教育機関と産業界や地域等が連携し、地域社会への還元につながる取組を促進する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
県立看護大学における地域貢献として、県民を対象とした出前講座、公開講座、離島講座等を実施し、地域社会へ還元する。						
実施主体		一般県民を対象とした出前講座、公開講座、離島講座等の実施				
県						
担当部課【連絡先】	保健医療部保健医療総務課 【098-866-2169】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名 看護大学運営費							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：コロナの状況等を踏まえながら、公開講座、出前講座、離島講座の実施を工夫していく。
県単等	直接実施	58	194	338	0	0	264	県単等	OR4年度：コロナの状況等を踏まえながら、公開講座、出前講座、離島講座の実施を工夫していく。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OR3年度：
		—	—	—	—	—	—		OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	一般県民を対象とした出前講座、公開講座、離島講座等の実施				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	24	26	26	0	5	25	20.0%	0 大幅遅れ	<p>本学では性教育出前講座やDV被害者支援講座、離島のケアシステム構築支援に係る研修等多岐にわたる講座を開催しているが、令和2年度はコロナ禍で実施できなかった。その他、県、市町村、看護協会や市町村等の関係機関での人材育成、保健医療福祉に関する計画策定に参画し、地域の健康づくりに貢献している。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>①コロナ禍であっても落ち着いた時期には、与儀まちづくり協議会に参加している地域や小学校でのボランティア（読み聞かせ、不登校児支援、学習支援、傾聴ボランティア等）を行った。</p> <p>②子ども居場所ボランティアとして、学習支援などに学生を17名派遣することが出来た。また、コロナ対策中の南部保健所に学生ボランティアとして延べ48名が参加した。③コロナ禍で実施出来なかった。</p>	
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>・タイムリーな話題として、新型コロナウイルスの感染予防の周知啓発動画を配信し、県民に公開講座の周知を図っていく。</p>						<p>・令和3年3月に大学ホームページで公開した新型コロナウイルスの感染予防のための手洗い動画を公開し、1年間で315回の閲覧数があった。その他の県民向け公開講座については、コロナ禍でまん延防止等が発令されている中、実施および周知することは出来なかった。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

・本学は教職員が少なく、授業や研究等で多忙であり、出前講座等開催を増やすには時間的な制約がある。

##### ○外部環境の変化

・新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、出前講座等がほとんど開催できなかった。しかし、感染状況が落ち着いた時期には、学生や教員の地域貢献(ボランティア)活動を実施することが出来た。  
・コロナ禍後の県民の健康や社会生活への意識変化が予測されることから、そのニーズを把握することが必要である。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新型コロナウイルスが仮に収束しても、感染予防策は必要と思われるため、新たな公開講座の開催方法(代替企画)や他の活動を検討する必要がある。  
・withコロナ時代に求められる県民のニーズを把握する。

### 4 取組の改善案 (Action)

・「新しい生活様式」の中、県民への公開講座のみではなく、感染対策を徹底した教員と学生による地域貢献活動として、近隣の地域住民との協働による健康づくり、他機関(大学コンソーシアム、実習施設など)との連携を推進していく。  
・法人化後の中期計画にある「仮)島嶼保健看護開発センター」と地域貢献の視点から連携していく。